



グローバル展開と地方創生の好循環による「持続可能な発展を導く科学」の実践

～Society5.0の実現とコロナ対策の進展に伴う新しい時代に適合した経営改革～

取組④-(1)

地球規模課題等の社会ニーズに応える研究拠点の持続的創出と社会実装

- COVID-19関連
 - 中和抗体の作成技術の開発
 - COVID-19検体前処理自動機の開発
- SDGs関連
 - SDGs推進に向けた鉄鋼スラグの海陸での活用と社会実装

Society5.0の実現

取組①

国際的評価・認知度の向上と国際求心力の醸成

卓越した研究成果
イノベーションの創出

研究・社会貢献の機会
事業資金

- インドネシアを事例とした本学同窓生とのネットワーク強化による国際ファンドレイジングの展開
- 超学際研究領域の国際ネットワーク拠点NERPSによる国際発信力・求心力の醸成
- THEインパクトランキング2021で国内トップ

オンライン化の進展
新たな教育需要の開拓

教育の機会
整備資金

* 赤字は本事業期間中の成果。

取組④-(2)

広島大学
バーチャルキャンパス (e-HU)
構築のための基盤整備

- ローカル5Gオープンラボの設置
- 知を鍛える-広大名講義100選-のオンライン公開
- オンラインオープンキャンパスの開催

Society5.0の実現

取組②

世界の有力大学との新たな連携モデルの確立

- 世界の有力大学の経験とノウハウを効率的に移転するための基盤の構築
- アリゾナ州立大学との協働事業ロードマップを作成
- アリゾナ州立大学との事業連携により新たな財源を確保

学生の参画

教育の機会
学生への経済的
支援の財源

取組④-(3)

自己財源による学生への経済的支援の強化

- 応急学生支援金制度の継続・拡充
支援実績
件数：1,820件
金額：54,600千円

コロナ対策の進展

好循環の創出

Society5.0の実現

取組③

SDGs・Society 5.0
実現に向けた
広島大学モデルの展開

オンライン化の進展
国際頭脳循環

教育の機会
運営資金

- Town & Gown Officeの設置
- スマートシティ共創コンソーシアムの構築
- 地方創生に向けた新たな連携モデルの確立

取組④-(4)

e-START, COILなどのオンラインによる海外大学と連携した教育の拡大

- オンライン型海外派遣プログラム「e-STARTプログラム」開設
- 森戸国際高等教育学院オンラインプログラム開設
- ハーバード大、カンザス大とオンラインで連携した教育の実施

コロナ対策の進展

【ガバナンスの強化】

- ・ 全学一元化した教員組織「学術院」の設置 (H28～)
- ・ 「全学人事委員会」の下、教員人事の全学一元化 (H28～)
- ・ 世界有数大学のマネジメント手法の導入 (H29～)
- ・ 全学統一のKPI指標を活用した大学経営 (H26～)
- ・ IR本部を中心とした大学経営におけるEBPMの推進 (R2～)
- ・ ガバナンス・コードへの適合状況等に係る報告 (R3～)

【人事給与とマネジメント改革】

- ・ 若手育成助教制度 (R元～)
- ・ 新テニユアトラック制度 (R2～)
- ・ 新たな教員個人評価制度 (導入：R3～, 適用：R4～)

【財源の多様化による財務基盤の強化】

- ・ 広島大学が躍動し、広島のを活性化させる基金の創設 (H29～)
- ・ ネーミングライツ事業 (R2～)

【産学官連携の推進】

- ・ オープンイノベーション事業本部を中心とした大型共同研究の推進 (R元～)
- ・ 共同研究における間接経費率の見直し (R3～)

徹底した大学改革により実現した成果



1. 教育・研究の組織改革が国内外の研究者や学生に与えたインパクト

世界の有力大学との新たな連携モデルの構築

■ 国立大学初となる海外大学の日本校誘致

- ASUサンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校を東広島キャンパスに設置
- 令和3年3月、協働事業ロードマップを作成、ロードマップに基づき、本格的な協働事業化に着手
- ASUと本学の学生が共同履修可能な授業を5科目開講
- ASUサンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校の授業を担当可能な本学の教員候補を34人選出
- 令和4年8月から第1期学生の受入開始
(各種メディアにおいて報道(新聞:3社, テレビ:3社))



**アリゾナ州立大学との協働により
世界の有力大学の教育を受ける機会を提供**

■ オンラインによる教育の国際化

- ハーバード大学とのバーチャル日本語パートナープログラム
(参加学生数: 本学12人, ハーバード大学9人)
- カンザス州立大学と本学の双方向授業
(参加学生数: 本学62人, カンザス大学3人)
- オンライン型海外派遣プログラム「e-STARTプログラム」
(共同実施大学所在国: 20ヶ国, 参加学生数: 本学143人, 共同実施大学254人)
- 森戸国際高等教育学院日本語・日本文化オンラインプログラム
(第1期受入学生数: 10人)



オンラインによる国際交流機会の拡大

地方創生に向けた組織的地域連携モデルの構築

■ Town & Gown 構想を中心とした産学官連携の推進

- 令和3年10月、Town & Gown構想の推進組織として、Town & Gown Officeを設置
- 東広島市及び住友商事、ソフトバンク、フジタと包括的連携協定を締結
(各種メディアにおいて報道(新聞:8社, テレビ:4社))
- 小泉前環境大臣が第204回国会予算委員会にて、本学の「カーボンニュートラル×スマートキャンパス5.0宣言」に言及
- 他の大学や国、地方公共団体(東京大学, 九州大学, 文部科学大臣, 自由民主党環境部会委員, 経済産業省, 山梨県議会等)が視察



他の大学や地方公共団体への波及的効果を創出

■ 産学官民が一体となった取組

- **スマートシティワークショップ**
自治体や企業と一体となって、市の地域課題を知り、大学や学生ならではの視点での課題解決を目的として3回開催
(参加者数: 延べ69人【学生, 市職員, 大学職員, 企業】)
- **COMMONプロジェクト** *
東広島市と共同で社会課題解決に向けて、**ニーズ型共同研究を13件立ち上げ**(新たなCOMMONプロジェクト候補を**24件**検討)
* COMMONプロジェクト: 教員の研究・講義テーマと東広島市の部局をマッチングするプロジェクト
- **学生情報システムの協働開発**
就職支援ツールとブロックチェーン技術を連動させる
STARプロジェクトに参画し、学生情報システムを協働開発



学生や研究者に地域課題解決への参画機会を提供

ASUとの事業連携や地方創生に向けた産学官民が一体となった取組により国際的評価・認知度と国際求心力の醸成 THEインパクトランキング2021で国内トップ, SDGs項目別でも5項目で国内1位を獲得

令和2-3年度 KPIの達成状況

* 目標値を達成している値は赤字で記載。

■ 世界有力大学と本学の学生が共同履修可能な授業科目数 (取組②)

	R2	R3
KPI	3科目	5科目
実績値	1科目	5科目

■ COMMONプロジェクト立ち上げ件数 (取組③)

	R2	R3
KPI	3件	5件
実績値	1件	12件

■ e-START/START+プログラム (オンライン型海外派遣プログラム) 参加学生数 (取組④)

	R2	R3
KPI	70人	105人
実績値	61人	143人





2. 経営基盤を強化するための外部資金の獲得に向けた質・量を伴った体制整備

外部資金の獲得に向けた体制整備

- 3人の国際ファンドレイザーを雇用し、アメリカ及びインドネシアにおいて同窓会や海外進出企業等との連携体制ネットワークを構築
- 次世代型産学官金連携支援コンソーシアム「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を立ち上げ
- 産学連携コーディネーター等の増員や共同研究制度の見直し
- オープンイノベーション事業本部を中心とした全学的な大型共同研究の推進



広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの形成

- 「大学がコーディネート役を果たしながら、業種の異なる複数の民間企業を中心となり、自治体や市民と連携してSociety 5.0の先行的な実現の場としてのスマートシティの形成」を目的としたコンソーシアムを令和4年3月に設置
- 民間外部資金の獲得に向け、企業版ふるさと納税を活用
- 東広島キャンパスを大規模な実証・実装フィールド（イノベーション・コモンズ）とし、企業等との共同研究・事業を活性化

企業等との共同研究・事業の推進により外部資金を獲得

アリゾナ州立大学との事業連携体制の構築

■アリゾナ州立大学との共同運営

- 令和4年8月から第1期生の受入を開始
- ASUサンダーバードグローバル経営大学院 - 広島大学グローバル校から、学生数に応じた応分負担収入を獲得



■ASUとの協働事業化に向けたロードマップ

- 令和3年3月、ASUとの協働事業化に向けたロードマップを作成



■日米共同ファンドレイジング

- ASUからファンドレイジングに関するノウハウの教示を受け、海外からの寄附拡大のための知見を獲得
- ASUサンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校の学習環境整備のための日米共同ファンドレイジングについて協議を実施



アリゾナ州立大学との事業連携により経営資金の獲得拡大

安定的な経営基盤強化を構築するために必要な基盤強化、連携体制を構築
知・人材・資金の好循環を創出し、新たな外部資金等の多様な財源の獲得が可能

令和2-3年度 KPIの達成状況

■海外からの寄附受入額 (取組①)

	R2	R3
KPI	1.0億円	1.5億円
実績値	1.5億円	1.1億円

■広島大学基金の受入額 (取組①)

	R2	R3
KPI	3.5億円	4.0億円
実績値	8.5億円	3.5億円

■アリゾナ州立大学/広島大学協働事業化に向けたロードマップの作成 (取組②)

	R2	R3
KPI	ロードマップ作成	—
実績値	作成済	—

■共同研究受入額 (取組③, ④)

	R2	R3
KPI	13億円	15億円
実績値	14.4億円	15.8億円

* 目標値を達成している値は赤字で記載。





3. 獲得した資金や人的・物的リソースの戦略的配分

Town & Gown 構想の本格稼働



■ 新たな産学官連携モデルの展開に向けた組織整備

- 令和3年10月、Town & Gown構想の推進組織として **Town & Gown Office**を設置
- SDGsやSociety5.0実現に向けた地方創生のため、**産学官民が一体となった取組を実施**（COMMONプロジェクトの実施、次世代学園 都市づくり構想の検討、学生情報システムの協働開発）

■ Town & Gown 構想の実現に向けた戦略的人員配置

- 本学、東広島市に加えて、包括的連携協定を締結した企業からの本学への出向者を含め、Town & Gown Officeのメンバーを構成

〔 **本学：7人** **東広島市：4人**
企業（住友商事、ソフトバンク、フジタ）：4人 〕

■ イノベーション・ commonsの基盤構築に資金を配分

- **企業版ふるさと納税の活用**によって、広島大学スマートシティ共創コンソーシアム参画機関から資金を獲得
- 獲得した資金は、**東広島キャンパスを大規模な実証・実装フィールド（イノベーション・commons）**とするための基盤構築費として活用

好循環 グローバル展開と地方創生の好循環を加速

3キャンパスの重点的な機能強化を図り、グローバル展開と地方創生の好循環を加速させるため、戦略的に配分

医療人材養成拠点の新棟 着工
霞キャンパス

法曹養成を核とした人文社会科学系拠点 着工
東千田キャンパス

国際交流拠点施設 完成
東広島キャンパス

グローバルな産学官連携・起業拠点の形成



■ 寄附金、自己資金を活用した国際交流拠点施設の整備

- 令和3年10月、**東広島市からの寄附金5億円、自己資金10億円を財源として、イノベーション創出、交流拠点、宿舎機能を持つ広島大学フェニックス国際センター（ミライクリエ）を建設**
- ミライクリエ内に、ASUオフィス、Town & Gown Officeを設置、企業と連携したピッチイベントや企業セミナーを開催

研究拠点の持続的創出に向けた重点投資

- ・ **低炭素社会に資する断熱素材研究の世界トップ研究者をコロラド大学から招聘、6か月本学に滞在**
- ・ **研究シーズを把握・分析するための研究DXツールとして、アクティビティモニターシステムを整備**
- ・ **若手研究者が主催し海外研究者が参加する会議の開催経費を助成**

グローバル展開と地方創生の好循環の実現に向けて、戦略的な人員配置・資金配分を実施 知・人材・資金の好循環がもたらす新たな資源を本学の経営改革に結びつける

令和2-3年度 KPIの達成状況

■ 専任教員数（承継職員数）における若手教員（40歳未満）の割合

	R2	R3
KPI	23.5%	24.0%
実績値	25.1%	26.4%

■ 経常収益に対する寄附金収益割合（取組②）

	R2	R3
KPI	2.0%	2.2%
実績値	2.1%	2.3%

■ 民間外部資金での直接雇用による事業参画人数（取組③）

	R2	R3
KPI	30人	35人
実績値	29人	38人

* 目標値を達成している値は赤字で記載。

